

突然襲う土砂災害に注意

「身を守るのは早めの避難」

人命や大切な財産を一瞬のうちに奪い去る土砂災害。土石流、地すべり、ガケ崩れなどの土砂災害は、主に雨などが引き金となつて発生します。梅雨時から秋の台風シーズンにかけて一年のうちでも降雨量の多いときが、土砂災害が最も発生しやすいときです。近ごろは異常な集中豪雨による被害も頻発しています。

「雨が降ったら要注意」

土砂災害の危険から身を守るのはあなた自身です。家や職場の周囲は安全ですか。危険な箇所を点検し、防災情報を収集するなど「日ごろの備え」を万全にし、いざとなったら「早めの避難」を心がけましょう。

《土砂災害の前兆に注意》

土石流

- 山鳴りがする
- 急に川の流れが濁り、流木が混ざっている

- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

- 腐った土の臭いがする

地すべり

- 沢や井戸の水が濁る
- 地面にひび割れができる

ガケ崩れ

- 斜面から水がふき出す
- 家や擁壁に亀裂が入る
- 家や擁壁、樹木や電柱が傾く
- ガケに割れ目が見える
- ガケから水が湧き出る
- ガケから小石がばらばらと落ちてくる
- ガケから木の根が切れる音がする

1時間の雨量と災害発生状況

気象庁資料より抜粋

1時間の雨量	予報用語	災害発生状況
10～20mm	やや強い雨	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
20～30mm	強い雨	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れ。
30～50mm	激しい雨	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり、下水管から雨水があふれる。
50～80mm	非常に激しい雨	マンホールから水が噴出。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80mm以上	猛烈な雨	大規模な災害の発生するおそれ。厳重な警戒が必要。

近隣の避難場所を確認しておきましょう



一時避難場所一覧表

字別	番号	名称	所在地
木古庭	1	木古庭会館 木古庭児童館	木古庭605
	2	木古庭公園	木古庭1652-4
上山口	3	上山口小学校	上山口158
	4	杉山神社	上山口2642
	5	上山口会館 上山口児童館	上山口2627
下山口	6	神明社	下山口1504-1
	7	氏子会館	下山口1517
	8	下山口会館 下山口児童館	下山口1705-1
一色	9	森山神社	一色2165
	10	玉蔵院	一色2154
	11	一色小学校	一色1060
	12	一色岡公園	一色489
堀内	13	堀内会館	堀内510
	14	光徳寺	堀内1349
	15	葉山小学校	堀内2050
	16	葉山中学校	堀内2247-2
長柄	17	長柄小学校	長柄130
	18	長柄会館	長柄769
	19	御霊神社	長柄662
	20	葉桜会館 葉桜児童館	長柄1413-154
	21	イートピア中央公園	長柄1642-276
	22	南郷中学校	長柄1835
	23	南郷上ノ山公園	長柄1888-1
	24	県立逗葉高校	桜山5-373-17

「集中豪雨に注意」

短時間のうちに狭い地域に集中して降る雨を集中豪雨といい、突発的に降ることが多く、予測は大変に困難です。雨の量が増すことに思いがけない事象が発生するので、気象情報や雨の変化に十分注意しましょう。

《集中豪雨に備えるために》

◆家のまわりの点検

側溝の詰まりなど、家の周辺の水はけを良くして、雨水の流れをせき止めないようにする。地域ぐるみで取り組むことが大切です。

◆雨といや排水口の点検

落ち葉や土砂などを取り除き、継ぎ

目のはずれなどをチェックする。ベランダの排水口も注意。

◆家財道具を安全な場所に移す

浸水が心配される場合は、あらかじめ二階などに移しておく。

問合せ 消防総務課防災係

☎八七六一〇一四七

大雨・洪水注意報・警報の基準

横浜地方気象台 平成15年3月3日改正

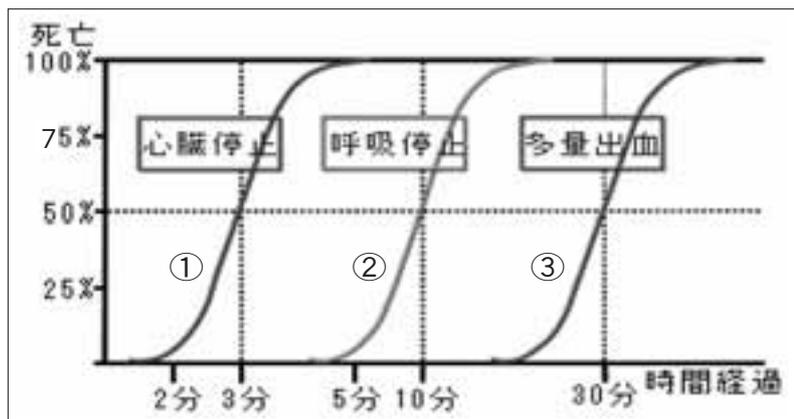
大雨注意報	東部三浦半島	1時間降水量	20mm
		3時間降水量	30mm
		24時間降水量	60mm
大雨警報	東部三浦半島	1時間降水量	40mm
		3時間降水量	80mm
		24時間降水量	150mm
洪水注意報	東部三浦半島	1時間降水量	30mm
		3時間降水量	50mm
		24時間降水量	100mm
洪水警報	大雨警報基準と同じ		

九月九日は、『救急の日』

あなたは、いざという時、

愛する人を救えますか？

かけがえのない命を守るために…



カーラー救命曲線 (図1)

- ①心臓停止後、約三分で五〇%死亡
- ②呼吸停止後、約一〇分で五〇%死亡
- ③多量出血後、約三〇分で五〇%死亡

図1は「カーラー救命曲線」といいます。心臓が止まってから、または呼吸が止まってから、何分ぐらい経つと命が助からないかが曲線で示されています。

救命の連鎖 (図2)



図2は「救命の連鎖」といいます。命を救うためには、次の四項目について、じんそくにとぎれることなく、

行うことが重要であると示されています。



早い通報：落ち着いて、はっきり一一九番通報。



早い応急手当：救急車が着く前に心肺蘇生などの応急手当。



早い救急処置：救急救命士等の行う除細動などの高度な応急処置。



早い医療処置：医療機関における医療処置。



全国で、一一九番通報をしてから救急車が到着するまで、平均約六分かかります。救急車が来るまでの「空白の時間」をどう過ごすかが大切です。葉山町消防署では町民の皆さんを対象に「応急手当」の講習を行っています。受講を希望される人は、葉山町消防署救急係まで。

問合せ 消防署救急係
☎八七六一〇一一九

正しい救急車の 利用方法について

現在、救急出場件数は、町を含めて全国的に増加しています。急を要しない軽いケガや病気は自家用車などをご利用ください。また判断に迷う時や緊急に病院へつれていく手段がない場合はためらわず救急車を要請してください。緊急時の町民の命を救うために救急車は正しく利用しましょう。

もし夜間・休日にけが人や急病人が出たら左表を参考にしてください。

	診断科目	診療時間	場所	問合せ
夜間	内科	20時～23時	逗葉地域医療センター ☎873-7752	消防署 ☎876-0119
	小児科			
休日	外科	10時～17時	逗葉地域医療センター ☎873-7752	逗葉地域医療センター ☎873-7752
	内小児科			
	歯科			
日	眼科	9時～17時	広域休日当番 医院(横須賀・三浦地域)	
	耳鼻咽喉科			
	産婦人科			

※保険証を持参し、帰りの交通手段も考えておきましょう。

九月一日は防災の日

八月三十日～九月五日は防災週間

地震を防ぐことはできませんが、一人ひとりの心がけで被害を最小限に抑えることは可能です。これを機会に非常持出品の準備・点検、家具の固定、防災について家族で話し合いをしましょう。

グラッときたら：

- ①身の安全を確保する！
・テーブルなどに身を伏せる。
・座布団などで頭を保護。
・あわてて外に飛び出さない。
・扉を開けて避難口を確保。
- ②落ち着いて火の始末！
・小さい揺れでもすぐ消火。揺れが大きいときは揺れが治まってから消火。
・出火したら、消火器・バケツなどで小さいうちに消し止める。
- ③避難は徒歩で、持ち物は最低限に！
・荷物は少なく、リュックなどで両手が見えるように。
・ガスの元栓を締め、電気ブレーカーを切る。
・服装は動きやすいもので、靴は底の厚いものを。
- ④こんなところは危険！
・狭い路地や塀ぎわは、落下物や塀が倒れてくる危険が。
・崖や川べりでは地盤が緩んで崩れやすくなっていることがある。
- ⑤正しい情報の入手！

- ・デマに惑わされない。テレビ、ラジオ、防災無線などから情報を入手。
- ・不要、不急な電話をかけない。消防署などへの災害状況の問い合わせは消防活動に支障をきたす。
- ⑥津波に注意！
・大小に関わらず揺れを感じたら海岸には近づかない。

防災行政無線が聞こえないときは

- 防災行政無線は災害情報や町からのお知らせを町民の皆さんへ伝える設備です。内容が聞き取れない時のポイントは次の三つです。
- ①災害情報は男性の声、それ以外は女性の声と、区別して放送しています。男性の声の場合はテレビ、ラジオなどで情報を確認してください。湘南ビーチFMでも確認できます。
 - ②女性の声の場合は町からのお知らせ等なので緊急性はありません。
 - ③八七五・四〇〇〇に電話すると、男性の声、女性の声の時にかわらず、放送と同じ内容を聞けます。火災や救助などで消防車が出動したときもお知らせしています。
- 「防災行政無線が聞こえづらい」という人には、この三ポイントを教えてください。
- 問合せ 消防総務課防災係
☎八七六〇一四七

電子公印スタート

九月二十一日(火)から左記の証明書等のサイズがA4版また、公印が黒色の電子公印に変更になります。

町民課 取り扱い	税務課 取り扱い
<ul style="list-style-type: none"> ・住民票の写し ・住民票記載事項証明 ・転出証明書 ・住民票コード通知票 ・印鑑登録証明書 ・印鑑登録抹消通知書 ・印鑑登録照会書 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価証明書(固定資産課税台帳記載事項証明) ・公課証明書 ・所得証明書 ・所得課税証明書 ・非課税証明書 ・納税証明書(軽自動車税、法人税は除く)